

6 転入・転出超過の状況

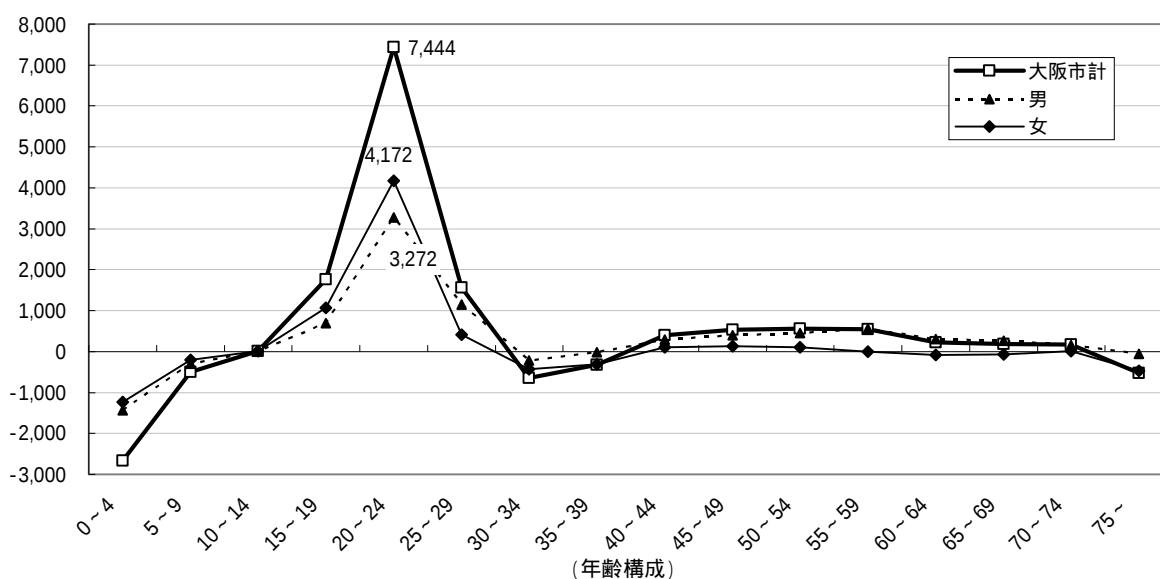
(1) 男女別・年齢別超過数

～転入超過の大部分を占める「15～29歳」では男女とも転入超過だが、55歳以上では男性が転入超過、女性では転出超過の傾向がみられる～

- ・ 超過人数（転入者数-転出者数）は、8,747人の転入超過となっており、男女の内訳では「男」5,555人、「女」3,192人で「男」の転入超過の方が多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、最も転入超過であるのは「20～24歳」で7,444人となっている。一方、転出超過が最も多い年齢は「0～4歳」の2,663人で、これに伴い、当該世代の親世代と考えられる30～39歳でも転出超過となっている。
- ・ 年齢構成を男女別にみると、55歳以上では、男性が転入超過、女性が転出超過の傾向がみられる。

図 転入・転出者の男女別・年齢別移動状況

(転入者数-転出者数)



注) 超過人数は、(転入者数-転出者数)である。よって、数値が負の数であるものは転出超過を示す。

表 転入・転出者の男女別・年齢別移動状況

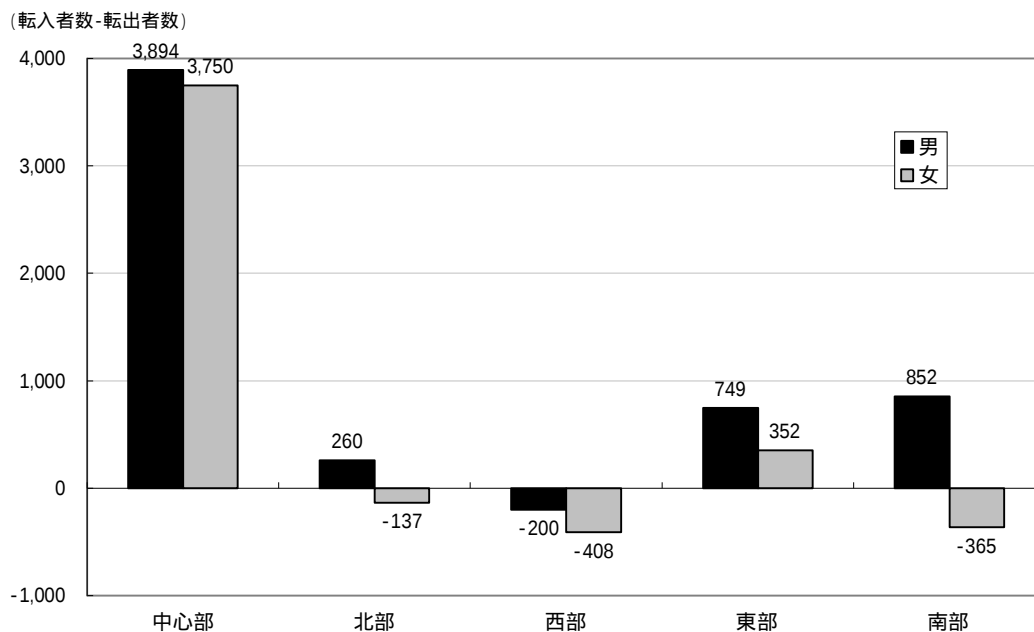
		年 齢 別																
		総数	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～
男	大阪市計	8,747	-2,663	-499	11	1,770	7,444	1,560	-648	-320	395	531	560	552	221	186	175	-528
女	男	5,555	-1,432	-293	5	696	3,272	1,153	-214	-14	294	398	458	557	308	260	164	-57
	女	3,192	-1,231	-206	6	1,074	4,172	407	-434	-306	101	133	102	-5	-87	-74	11	-471

注) 超過人数は、(転入者数-転出者数)である。よって、数値が負の数であるものは転出超過を示す。

(2) 市内地域別超過数 ～「中心部」で市域全体の転入超過の約9割を占める～

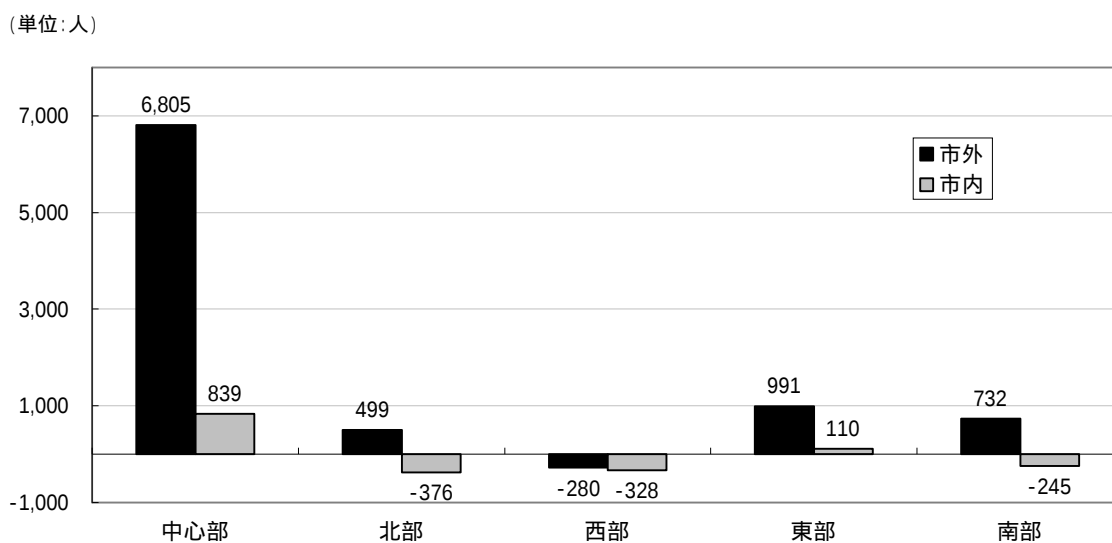
- ・ 市内の地域別でみると、「西部」以外で転入超過となっている。最も転入超過が多い地域は「中心部」で7,644人となっており、市全体の転入超過の約9割を占めている。
- ・ 男女別にみると、「北部」と「南部」では、「男」は転入超過であるのに対し、「女」は転出超過となっている。
- ・ 市内と市外で分けてみると、「中心部」では転入超過のほとんどを市外で占めている。

図 市内地域別の男女別超過状況



注) 超過人数は、(転入者数-転出者数)である。よって、数値が負の数であるものは転出超過を示す。

図 市内地域別の市内市外別超過状況



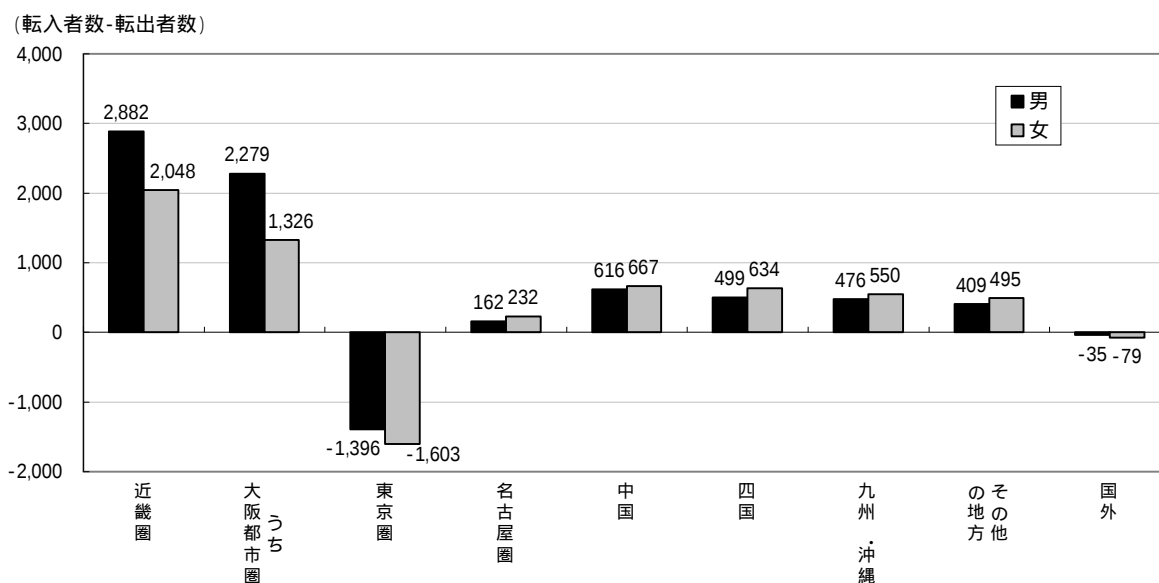
注) 超過人数は、(転入者数-転出者数)である。よって、数値が負の数であるものは転出超過を示す。

(3) 地方別超過の状況

男女別超過数 ～「東京圏」に対してのみ転出超過（国外を除く）～

- ・ 地方別にみると、「東京圏」と「国外」で転出超過になっており、それ以外の地方では転入超過となっている。転入超過が最も多い地方は「近畿圏」で 3,192 人となっており、一方転出超過となっている地方は「東京圏」で 2,999 人となっている。
- ・ 男女別でみると、「近畿圏」や「大阪都市圏」では「男」の転入超過数が「女」より多くなっている。

図 転入転出者の男女別の地方別移動状況 -拡大推計結果-



注) 拡大推計は推計値を四捨五入しているため、内訳の合計は必ずしも一致しない。
超過人数は、(転入者数-転出者数)である。よって、数値が負の数であるものは転出超過を示す。

表 転入転出者の男女別の地方別移動状況 -拡大推計結果-

	総数	近畿圏	うち 大阪都市	東京圏	名古屋圏	中国	四国	九州・沖縄	その他の 地方	国外
大阪市計	8,747	4,930	3,605	-2,999	394	1,283	1,133	1,026	904	-114
男	5,555	2,882	2,279	-1,396	162	616	499	476	409	-35
女	3,192	2,048	1,326	-1,603	232	667	634	550	495	-79

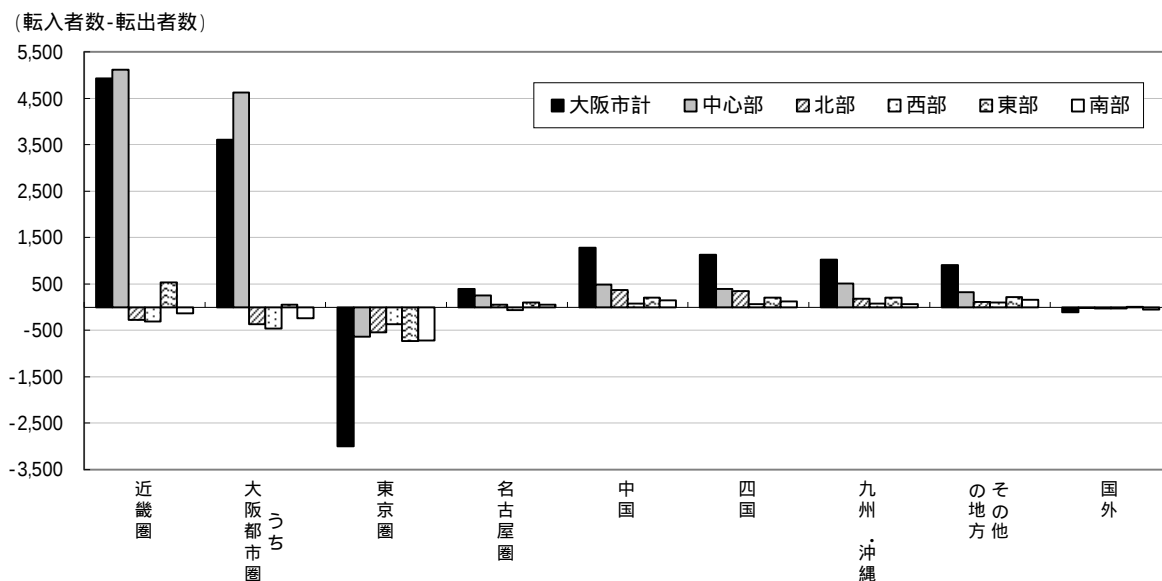
注) 拡大推計は推計値を四捨五入しているため、内訳の合計は必ずしも一致しない。
超過人数は、(転入者数-転出者数)である。よって、数値が負の数であるものは転出超過を示す。

市内地域別超過数

～大きく転入超過となっている「近畿圏」「大阪都市圏」に対しても「北部」「西部」「南部」では転出超過となっている～

- ・市内の地域別に各地方との超過状況をみると、「近畿圏」「大阪都市圏」に対しては、「北部」「西部」「南部」で転出超過となっている。

図 転入転出者の地方別移動状況 -拡大推計結果-



注) 拡大推計は推計値を四捨五入しているため、内訳の合計は必ずしも一致しない。
超過人数は、(転入者数-転出者数)である。よって、数値が負の数であるものは転出超過を示す。

表 転入転出者の地方別移動状況 -拡大推計結果-

	総数	近畿圏	うち 大阪都市	東京圏	名古屋圏	中国	四国	九州・沖縄	その他の 地方	国外
大阪市計	8,747	4,930	3,605	-2,999	394	1,283	1,133	1,026	904	-114
中心部	6,805	5,113	4,626	-631	256	484	397	505	320	-20
北部	499	-273	-364	-545	56	372	348	181	115	-28
西部	-280	-314	-464	-371	-63	75	66	71	97	-24
東部	991	537	48	-728	96	204	200	205	218	5
南部	732	-133	-241	-724	49	148	122	64	154	-47

注) 拡大推計は推計値を四捨五入しているため、内訳の合計は必ずしも一致しない。
超過人数は、(転入者数-転出者数)である。よって、数値が負の数であるものは転出超過を示す。